

豊かに快適な環境を求めて・・・



爽やかな笑顔、  
真心のサービス

## 2023年度環境経営レポート

2022年4月～2023年3月



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

2030年に向けて  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です



環境省  
エコアクション21  
認証番号0011545

## ～ 目 次 ～

1. 社是・経営方針・環境方針
2. 組織の概要
  - ◆事業者名及び代表者氏名
  - ◆事業所所在地
  - ◆環境管理責任者及び担当者連絡先
  - ◆創業（設立）年月日
  - ◆資本金
  - ◆認証・登録範囲
  - ◆事業の規模
  - ◆実施体制
3. 環境経営目標とその実績
  - 3-1. 環境負荷の現状（令和5年度環境負荷自己チェック結果より）
  - 3-2. 環境経営目標（単年度・中期）と達成状況
4. 環境経営計画と取組結果
5. 指定管理施設の環境負荷について
6. 環境関連法規等の遵守状況、訴訟等の有無
  - 6-1. 適用となる環境関連法規等とその遵守状況
  - 6-2. 法令違反・訴訟等の有無
7. 代表者による見直しの結果

# 1. 社是・経営方針・環境経営方針

## 社是

私達は、技術・知識の向上に努め  
安全・安心・清潔のサービスをモットーに  
快適な環境を社会へ提供します。



## 経営方針

私達は お客様感動を達成します

私達は 事故ゼロを継続します

私達は 不祥事案を撲滅します

私達は 環境方針を推進します

## 環境経営方針

### 【環境理念】

私達は、ふるさとの豊かな環境を守り、持続可能な社会の実現を目指すため、環境マネジメントシステムの継続的な運用改善を図り、自らの環境負荷を可能な限り削減していくとともに、総合ビル管理、警備、指定管理等の業務を通じて、「安全・安心・清潔」に関する技術と真心サービスを提供しつつ、お客様の環境負荷の削減にも寄与してまいります。

### 【環境行動指針】

1. 環境関連法規等を遵守します
2. 電力使用、化石燃料の消費に伴い発生する二酸化炭素を計画的に削減していきます
3. 廃棄物を可能な限り削減するとともに分別を徹底し、リサイクル率の向上に努めます
4. 節水に努め、水資源を大切にします
5. 化学物質の使用量を削減していきます
6. 社員のスキル向上により、業務の効率化を図り、他社との差別化を図ります
7. お客様の環境負荷削減につながる提案を積極的に行い、可能な範囲で実践します
8. 地域の環境保全活動に貢献します



制定日：平成28年6月1日

最終改定日：令和元年5月1日

株式会社イービーエム  
代表取締役社長 赤間俊明

## 2. 組織の概要

事業所名	株式会社イービーエム	
代表者	代表取締役社長 赤間 俊明	
所在地	本社 〒992-0003 山形県米沢市窪田町窪田584-2 南陽営業所 〒992-0472 山形県南陽市宮内4641	
環境管理責任者	清掃業務部部长 遠藤 雅之	
担当者/連絡先	企画・人事部部長 田口 浩之 TEL 0238-37-5733 FAX 0238-37-2822	
資本金	1,000万円	
創業（設立年月日）	1968年（昭和43年）9月25日	
認証・登録範囲	対象サイト：本社ならびに南陽営業所、指定管理施設	
事業概要	警備業務（機械警備・常駐警備等）、清掃業務（日常清掃・定期清掃等） ビル総合管理業務（設備管理・環境衛生管理等）、指定管理業務	
沿革	昭和43年9月	株式会社オールビルマネジメントとして創業ビルメンテナンス業としては県内 2番目。その後、警備保障部、設備管理部を設け、米沢市市民文化会館の舞台操作業務を開始
	平成3年8月	株式会社イービーエムに改称し、現在地に移転
	平成5年7月	南陽市宮内に南陽営業所を開設
	平成18年4月	米沢市市民文化会館指定管理業務開始
	平成27年9月	イービーエムエナジー合同会社を設立し、メガソーラーによる再生可能エネルギー事業を開始
	平成28年12月	エコアクション21認証登録（登録番号0011545）
	平成31年2月	環境コミュニケーション大賞優良賞を受賞
	平成31年4月	山形大学白楊寮維持管理運営業務開始
	令和元年6月	「山形県環境保全推進賞」を受賞
	令和2年12月	自社生成する強アルカリイオン電解水「楽落水」として商標登録し販売を開始
	令和3年3月	健康経営優良法人2021に認定（2023継続認定）
	令和4年12月	エコアクション21更新完了

### 事業規模・対象範囲（認証・登録範囲）

事業年度	平成28年度 (H28.4~ H29.3)	平成29年度 (H29.4~ H30.3)	平成30年度 (H30.4~ H31.3)	令和元年度 (H31.4~ R2.3)	令和2年度 (R2.4~ R3.3)	令和3年度 (R3.4~ R4.3)	令和4年度 (R4.4~ R5.3)	令和5年度 (R5.4~ R6.3)
売上高（千円）	773,711	791,260	826,570	847,513	832,691	901,540	925,291	<b>938,070</b>
認証対象従業員数/ 全従業員数	229/263	234/268	280/280	280/280	270/270	270/270	270/270	<b>270/270</b>
従業員数：本社	38	38	38	38	38	38	44	<b>44</b>
従業員数：南陽営業所	7	7	7	7	7	5	5	<b>5</b>
床面積（㎡）：本社	303.9							
床面積（㎡）：南陽営業所	101.8							

※売上高は、当社会計年度（4～3月）に合わせて集計しています。従業員数は各年度4月時点での在籍数です。従業員数には、業務受託現場に直行直帰する従業員は含まれていません。

# 実施体制（令和5年4月～令和6年3月）

## 代表者

代表取締役社長 赤間 俊明

### 環境管理責任者

清掃業務部部长 遠藤 雅之

### 内部監査役

常務取締役 斎藤 正則

### 環境事務局

□本社：田口 浩之  
佐久間 水里  
□南陽：営業所 嶋津 優美

### 副環境管理責任者

（製品・サービス関連）

□本社：企画・人事部部长 田口 浩之  
□南陽：営業所所長 五十嵐 久人

### 指定管理施設

米沢市市民文化会館  
米沢市児童会館  
米沢市宮体育館  
置賜総合文化センター  
南陽市勤労者総合福祉センター

### 内部監査チーム

遠藤 雅之 田口 浩之 五十嵐 久人  
佐久間 水里 嶋津 優美

### （車両管理）

□本社：警備部 課長 飯澤 信幸  
□南陽：営業所 五十嵐 祐一

### （省エネルギー）

□本社：設備管理部 遠藤 賢  
□南陽：営業所 平井 悟

### （廃棄物管理）

□本社：清掃業務部 我彦 政孝  
□南陽：営業所 嶋津 優美

### （地域貢献・環境美化・5S）

□本社：清掃業務部係長 手塚 直利  
□南陽：戸田 勇太郎

## 全従業員

	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備</li> <li>環境管理責任者（現場環境管理責任者）を任命</li> <li>環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>環境目標・環境活動計画書を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直しを実施</li> <li>経営における課題とチャンスを整理し、明確にする</li> <li>環境活動レポートの承認</li> </ul>
内部監査役	<ul style="list-style-type: none"> <li>内部監査チームを組織して、適切に内部監査を実施する</li> <li>監査の結果を代表者及び環境管理責任者に報告する</li> <li>内部監査員の教育を実施する</li> </ul>
内部監査員	<ul style="list-style-type: none"> <li>内部監査役の指示により、中立的な立場で、対象となる部門の内部監査を実施し、マネジメントシステムの有効性について評価し、記録を作成し、内部監査役に提出する</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>環境目標・環境活動計画書を確認</li> <li>環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境活動レポートの作成・発行</li> </ul>
副環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者を補佐する</li> <li>それぞれの所轄（本社・南陽営業所）の環境の取組を管理する</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>環境目標、環境活動計画書原案の作成</li> <li>環境活動の実績集計</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表の作成</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）</li> </ul>
EA21推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期（四半期ごと）又は環境管理責任者の招集により開催する</li> <li>推進委員会のメンバーは、正副環境管理責任者、環境事務局とし、そのときの審議事項の内容によって、代表者、内部監査役の出席を仰ぐ</li> <li>委員会の議題は、環境目標の達成状況、環境活動計画の取組状況、環境関連法規の順守状況、環境上の苦情や緊急事態への対応、内部監査の結果や審査人からの指摘事項への対応、その他、環境管理責任者が必要と判断した事項とする</li> <li>審議の結果に基づき、適切な是正予防処置を定め、関係者に指示する</li> </ul>
部門責任者 ■製品・サービス関連 ■車両管理 ■省エネルギー ■廃棄物管理 ■地域貢献・環境美化・5S	<ul style="list-style-type: none"> <li>関連する環境目標ならびに環境活動計画の設定ならびに改訂の提案</li> <li>環境活動計画の取組状況の監視ならびに指導</li> <li>環境目標の達成状況に応じた是正策予防策の提案と実施または目標の見直しの具申</li> <li>環境負荷削減につながる改善提案ならびに情報収集</li> <li>取組に必要な手順書・マニュアル等の整備</li> <li>取組に必要な環境教育の企画と実施</li> <li>その他、担当部門の目標達成に必要な事項</li> </ul>
施設環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設内の環境の取組を管理する</li> <li>施設内における環境負荷の削減に向けた目標と活動計画の提案</li> <li>環境負荷データの取りまとめと報告</li> <li>環境目標の達成状況に応じた是正策予防策の提案と実施または目標の見直しの具申</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

### 3. 環境経営目標とその実績（本社及び南陽営業所）

#### 3-1. 環境負荷の現状（令和5年度環境負荷自己チェック結果より）

##### ■ 二酸化炭素排出量

※電力使用に係る二酸化炭素排出係数については、R4年度東北電力（調整後：0.477）を用いています。

1) 当社における令和5年度のCO<sub>2</sub>排出量は合計69372kg-CO<sub>2</sub>となっており、前年度比7.1%減少しました。これは平均的な一般家庭27軒分の年間CO<sub>2</sub>排出量に相当します。

（令和4年度世帯平均年間排出量2.59t-CO<sub>2</sub> 出典：家庭部門のCO<sub>2</sub>排出実態統計調査（環境省HP））

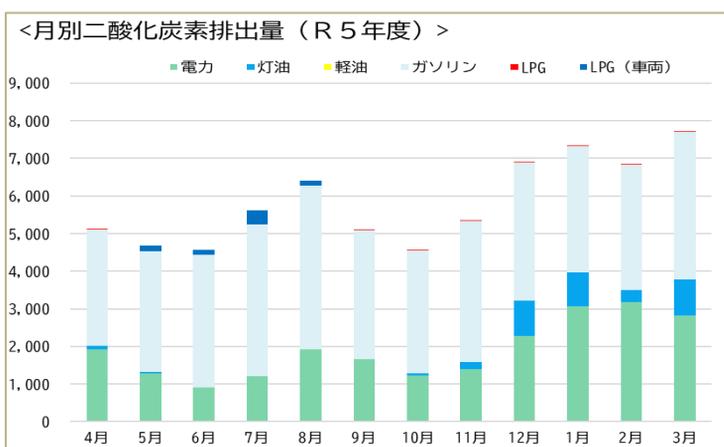
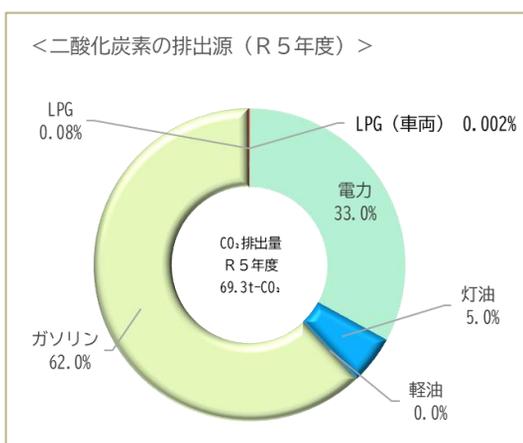
2) 当社から排出されるCO<sub>2</sub>の62%はガソリン・LPG（車両用）の消費によるもので42,986kg-CO<sub>2</sub>（前年比3.3%減）、次いで電力の使用に伴うものが33.0%、22,859kg-CO<sub>2</sub>（同17%減）、灯油の消費に伴うものが5%、3,474kg-CO<sub>2</sub>（同10%減）などとなっています。

3) ガソリン、LPGは、業務用車両の運行に伴い消費し、電力は事務所の照明、冷暖房、消雪用井戸ポンプの稼働で使用しています。また、LPGは事務所給湯用となっています。

4) 月別のCO<sub>2</sub>発生量は12月～3月の冬期間（降雪期）に多くなっています。これは、灯油消費量の増加と消雪ポンプ稼働に伴う電力使用量が増加するためです。令和5年度は暖冬だったこともあり、灯油の使用量は減少しています。ガソリンは、月による変動にあまり特徴はありませんが7月、8月、12月、1月が多い傾向にあります。これは、冷房、暖房を使用しているためです。

令和2年度行った本社のリフォームによって灯油による暖房から省エネタイプのエアコンに切り替えを行いました。

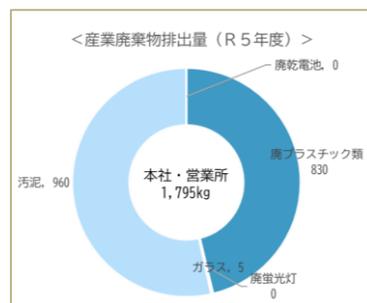
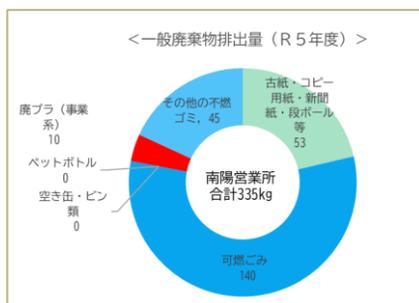
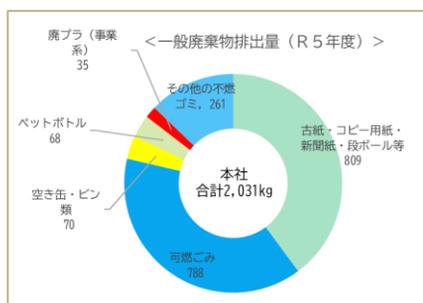
5) 以上のことから、特に車両運行に伴うガソリン・LPGの削減、冬期間の暖房使用及び、消雪用ポンプ稼働に伴う電力使用の削減などが重点課題となります。



##### ■ 廃棄物排出量

1) 一般廃棄物：可燃ごみ、紙類（資源回収対象）などは、行政の分別ルールに従い、本社・南陽それぞれ、量を把握した上で排出しています。本社は紙類（再生資源）が最も多く、809kg、次に可燃ごみで本社788kgとなっていました。また、南陽営業所では、可燃ごみが最も多く140kg、次いで紙類が53kgなどとなっていました。なお、リサイクル率は本社48.4%、南陽25.2%でした。

2) 産業廃棄物：汚泥（ワックス剥離液・洗剤廃液等）が53%（960kg）が最も多く、次に廃プラスチック約46%（830kg）となりました。その他の廃棄物についてはガラスなどがありました。



##### ■ 総排水量（水使用量）

本社・南陽ともに融雪用に地下水を利用していますが、量は把握できません。水道は、すべて生活用水となります。本社、南陽合わせて、458m<sup>3</sup>使用しました。前年比12.5%増加しました。なお、放流先は本社は公共用水域（浄化槽）、南陽は下水となります。

##### ■ 化学物質使用量（購入量）

清掃業務に使用する洗剤、剥離剤等にPRTR成分を含有しているものを以前は使用していましたが、PRTR成分を含有している洗剤、及び剥離剤は使用していません。

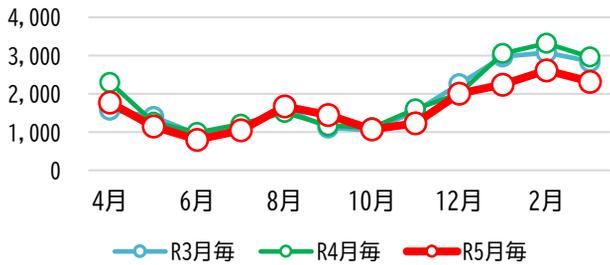
### 3-2. 環境経営目標（単年度・中期）と達成状況

環境経営方針との整合性を図りながら、環境負荷の自己チェックの結果を踏まえ、6項目（二酸化炭素、廃棄物、水、化学物質、製品・サービス関連）について、環境目標（単年度目標&5年間の中期目標）とその達成に向けた環境活動計画を策定し、取組を行いました。達成状況は下記のとおりです。

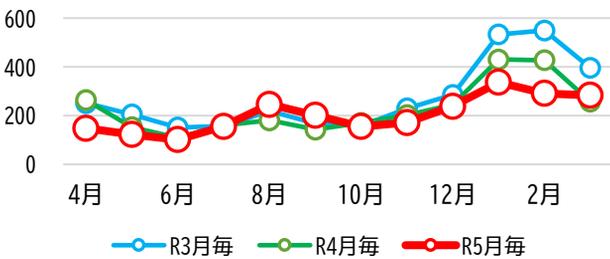
#### ■ 二酸化炭素排出量（電力）

【R5年度目標】（本社）R3年度比2%削減（南陽）R3年度比4%削減  
 【中期目標（R3~R7）】（本社）R3年度比10%削減（南陽）R3年度比8%削減

二酸化炭素排出量（電気：本社）



二酸化炭素排出量（電気：南陽営業所）



二酸化炭素排出量（電力）



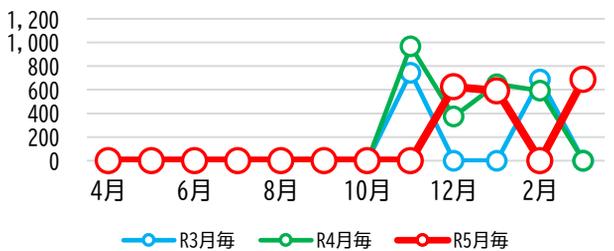
【取組結果】（取組期間：R5.4~R6.3）  
 ■基準年度実績：24,790kg-CO<sub>2</sub> ■取組期間目標：24,228kg-CO<sub>2</sub>  
 ■取組期間実績：21,868kg-CO<sub>2</sub>  
 ■増減量：-2,922kg-CO<sub>2</sub> ■増減率：-11.7%

【取組評価】  
 ・夏は暑かったため、例年を超えるの使用量でしたが、暖冬だったこともあり、本社・南陽ともに使用量は減少しました。  
 ・イレギュラーな年ではありましたが、結果目標を達成することができました。

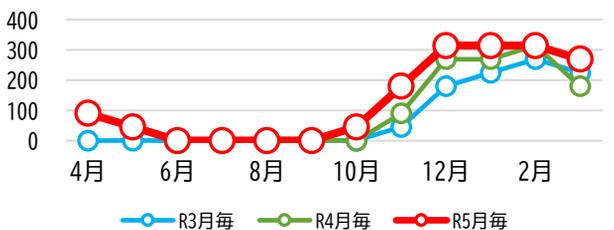
#### ■ 二酸化炭素排出量（灯油）

【R5年度目標】（本社）R3年度比2%削減（南陽）R3年度比3%削減  
 【中期目標（R3~R7）】（本社）R3年度比10%削減（南陽）R3年度比5%削減

二酸化炭素排出量（灯油：本社）



二酸化炭素排出量（灯油：南陽営業所）



二酸化炭素排出量（灯油）

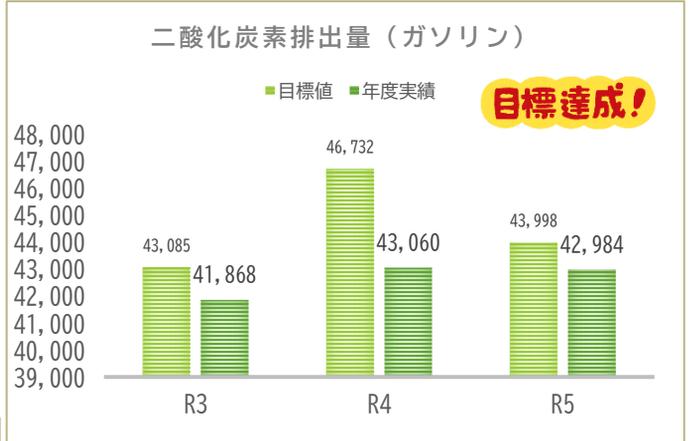
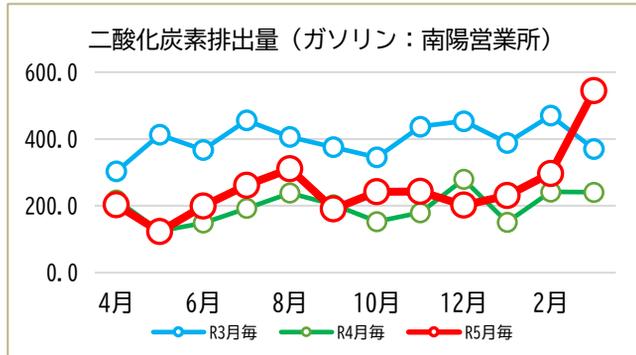
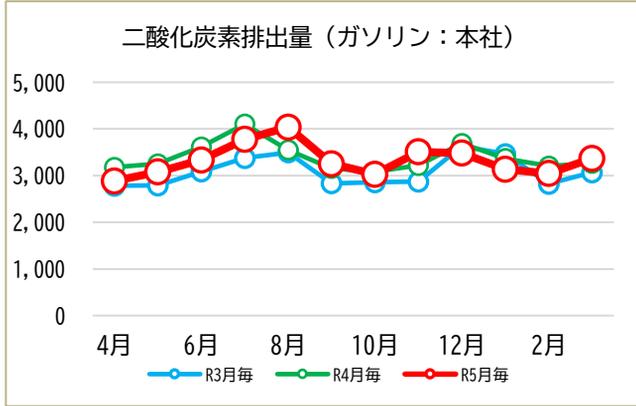


【取組結果】（取組期間：R5.4~R6.3）  
 ■基準年度実績：2,375kg-CO<sub>2</sub> ■取組期間目標：2,318kg-CO<sub>2</sub>  
 ■取組期間実績：3,474kg-CO<sub>2</sub>  
 ■増減量：+1,099kg-CO<sub>2</sub> ■増減率：+46.2%

【取組評価】  
 ・本社は暖冬だったため、購入時期が一ヶ月例年よりも遅くなり、増加している。営業所は洗濯物の乾燥のため、灯油ストーブを使用している。  
 ・結果、目標を達成することが出来ず、目標の是正が必要。

## ■ 二酸化炭素排出量（ガソリン）

【R5年度目標】（本社）R3年度比8%削減（南陽）R3年度比4%削減  
 【中期目標（R3~R7）】（本社）R3年度比6%削減（南陽）R3年度比8%削減

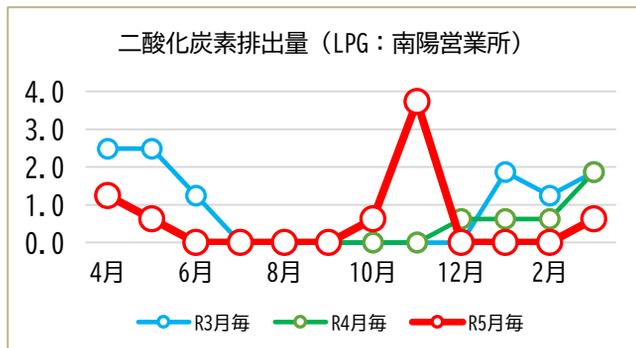
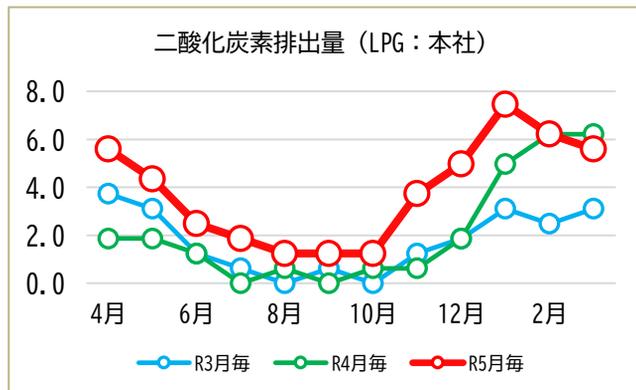


【取組結果】（取組期間：R5.4~R6.3）  
 ■基準年度実績：47,686kg-CO<sub>2</sub> ■取組期間目標：43,998kg-CO<sub>2</sub>  
 ■取組期間実績：42,984kg-CO<sub>2</sub>  
 ※基準年度実績はR3実績の1台当たりのCO<sub>2</sub>排出量より積算した  
 ■増減量：-4,702kg-CO<sub>2</sub> ■増減率：-9.8%

【取組評価】  
 ・エコドライブや暖冬だったこともあり、走行距離は増加していますが、使用量を抑えることが出来ました。年度途中でLPG車をガソリン車に切り替えたが、それでも大きな影響は有りませんでした。  
 ・結果、目標を達成することが出来ました。

## ■ 二酸化炭素排出量（LPG）

【R5年度目標】（本社）H27年度比77%削減（南陽）H27年度比85%削減  
 【中期目標（R3~R7）】（本社）H27年度比77%削減維持（南陽）H27年度比85%削減維持

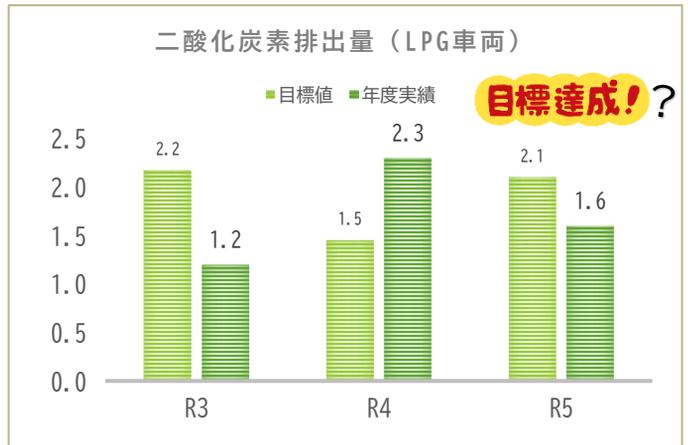
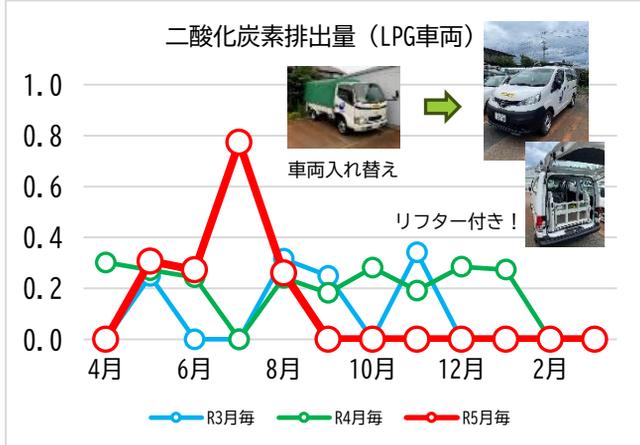


【取組結果】（取組期間：R5.4~R6.3）  
 ■基準年度実績：308kg-CO<sub>2</sub> ■取組期間目標：57.2kg-CO<sub>2</sub>  
 ■取組期間実績：52.8kg-CO<sub>2</sub>  
 ■増減量：-255kg-CO<sub>2</sub> ■増減率：-82%

【取組評価】  
 ・全員が湯温調節ダイヤルの表示を意識して使用していた。夏期間は使用を控えた。冬になると普通にガス瞬間湯沸かし器を使用していました。無理なく削減することが出来ました。  
 ・昨年よりは増加しましたが、目標達成することが出来ました。

## ■ 二酸化炭素排出量（LPG車両）

【R5年度目標】（本社）R1年度比14%削減（南陽）なし  
 【中期目標（R3~R7）】（本社）R1年度比40%削減を維持（南陽）なし



【取組結果】（取組期間：R5.4~R6.3）  
 ■ 基準年度実績：2.4kg-CO<sub>2</sub> ■ 取組期間目標：2.07kg-CO<sub>2</sub>  
 ■ 取組期間実績：1.6kg-CO<sub>2</sub>  
 ■ 増減量：-0.8kg-CO<sub>2</sub> ■ 増減率：-33%

【取組評価】  
 ・重量物の移動の際は使用していたが、修理に出していた期間が長く、使用状況が少なかったため、使用量は減少しています。  
 ・秋に車両をガソリン車に入れ替えたため、LPG車両は廃止となりました。

## 従業員とその家族で『家庭のカーボンニュートラルアクション』にチャレンジ！～目指せ！カーボンニュートラル～

山形県地球温暖化防止活動推進センター主催の『家庭のアクション』に従業員（当時）256名中35名が参加しました。『家庭のアクション』とは、地球温暖化の原因となる温室効果ガス排出量の削減のため、県民みんなで取り組む活動です。家庭のできるアクションという前提があるため、比較的簡単な内容ばかりでした。項目ごとに1人1日当たりのCO<sub>2</sub>削減効果を推算しました。結果は下記のとおりです。



No.	項目	1人あたり年間のCO <sub>2</sub> 削減量 (kg)	省エネ賞 (継続して取り組んでいるor取り組んだ)		チャレンジ特別賞 (今年度新たに取り組んだ)	
			実施人数 (従業員家族含む)	total(92日間)	実施人数 (従業員家族含む)	total(92日間)
1	電気冷蔵庫の開閉回数は少なくする。また、開閉時間は短くする。	5kg	105	132	3	4
2	使用しない部屋の照明はこまめに消す。	2kg	117	59	5	3
3	冷房、暖房は、適切な温度で使用する。	25kg	74	466	3	19
4	シャワーを流したままにしない。	29kg	111	811	0	0
5	洗濯物はまとめて洗う。	2kg	93	47	4	2
6	エコドライブを行う。(例えば、発進時はふんわりアクセルでゆっくりスタートする、車間距離にゆとりをもって加速減速の少ない運転をする)	344kg	88	7,629	7	607
7	電化製品を買い換えるときは省エネ性能が高いものを選ぶ。(電気冷蔵庫の場合)	163kg	48	1,972	10	411
8	自動車を購入する際には、エコカーなどの次世代自動車を選ぶ。	248kg	34	2,125	7	437
9	住宅の省エネリフォームをする。(内窓の設置など)	47kg	10	118	4	47
10	宅配便は1回で受け取るようにする。	7kg	62	109	10	18
11	使い捨てプラスチック製品を控えて、なるべくごみを出さないようにする。	4kg	54	54	8	8
12	太陽光発電設備等を設置する。	1275kg	13	4,177	0	0
13	薪・ペレットストーブなどの木質バイオマス燃焼機器を利用する。	0kg	7	0	0	0
14	エコ商品・リサイクル製品の購入、地産地消、CO <sub>2</sub> 排出の少ない電力の選択など「エンカル消費」に取り組む。	0kg	34	0	15	0
15	「やまがた省エネ健康住宅」などの断熱・機密性能の高い住宅に住む。	3543kg	18	16,071	3	2,679
16	日中太陽光発電等で発電した電気を貯めて、夜間等に使用する。	121kg	8	244	0	0
17	EV+再エネ電力で、ゼロカーボンドライブをする。	242kg	14	854	4	244
18	郵送にかかるエネルギーを少なくするよう、できる限り地元産の旬の食材を選ぶ。	8kg	44	89	5	10
19	植樹や間伐体験など森を守る活動に参加する。	0.8kg	0	0	2	0
20	食材の買い物や保存等で、食品ロス削減の工夫をする。	54kg	89	1,211	16	218
削減されたCO <sub>2</sub> 量 (kg)				36,168,3000		4,705,9992
						40,874,2992

①CO<sub>2</sub>削減量 40,874kg  
 ②CO<sub>2</sub>削減量を杉の植樹本数に換算  
 (杉は1本当たり1年間で14kg-CO<sub>2</sub>のCO<sub>2</sub>を吸収すると言われています)  
 40,874 ÷ 14 = 2,919 (本)  
 ③広さで換算 (1ha(10,000m<sup>2</sup>))  
 当たりの杉の植栽本数は約 3,110本  
 2,919 ÷ 3,110 = 0.938 (ha)

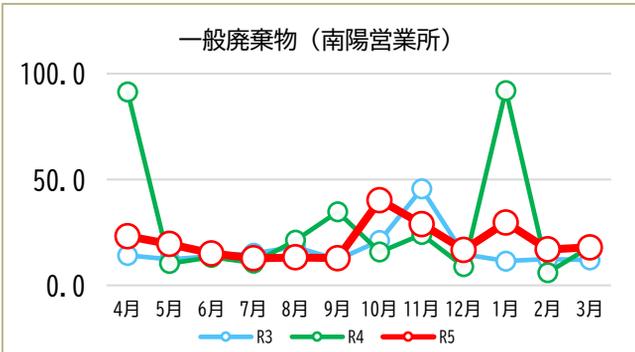
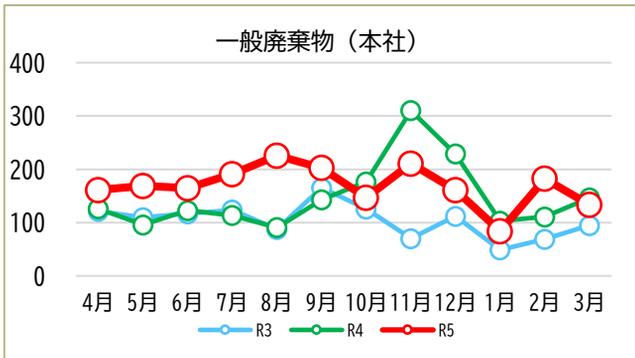
今回の活動で削減出来たCO<sub>2</sub>排出量を杉の植樹本数に換算すると、約2,920本になります。これは、バスケットコート約22面分の広さに杉を植えたことになりました。(※バスケットコート面積：420m<sup>2</sup>)

従業員の約14%が、家庭のできるちょっとした気遣い（アクション）をたった3ヶ月間実施しただけでこれだけの結果に…。



## ■ 一般廃棄物排出量

【R5年度目標】（本社）R3年度比2%削減（南陽）H28年度比48%削減  
 【中期目標（R3~R7）】（本社）R3年度比8%削減（南陽） H28年度比48%削減維持

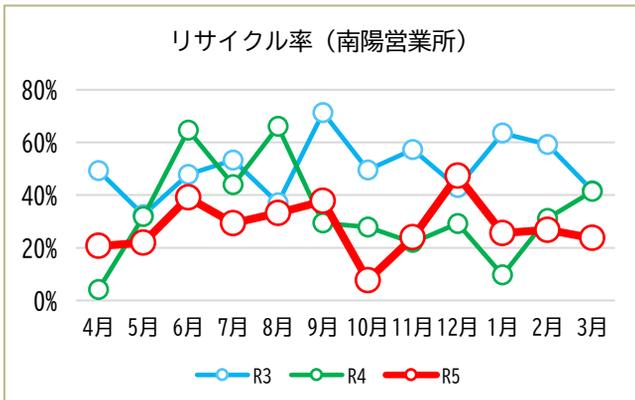
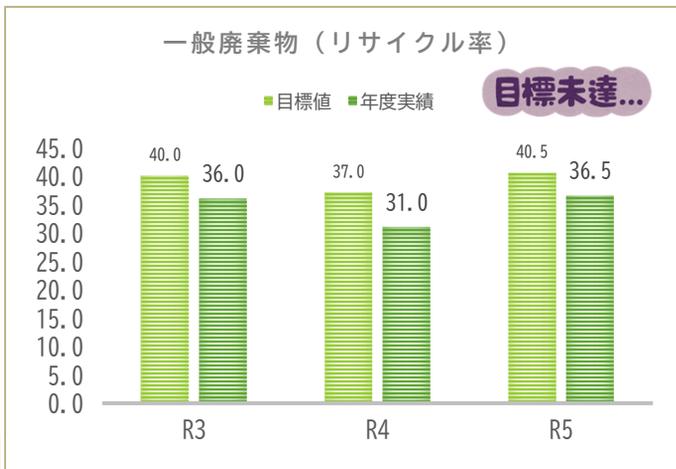
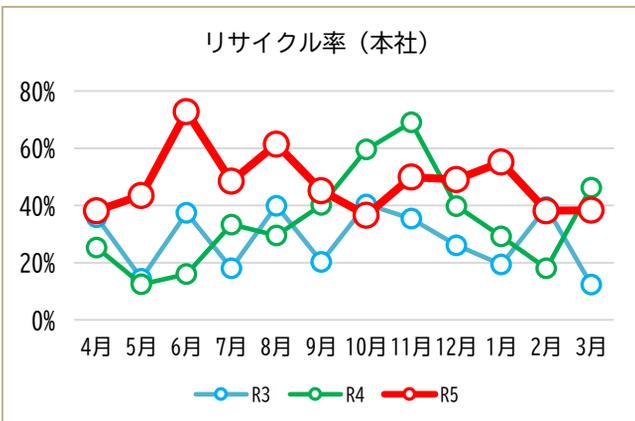


【取組結果】（取組期間：R5.4~R6.3）  
 ■基準年度実績：1,599kg ■取組期間目標：1,404kg  
 ■取組期間実績：1,388kg  
 ■増減量：-211kg ■増減率：-13%

【取組評価】  
 ・ユニフォームの切替のため、古いユニフォームを廃棄しました。ゴミの持ち込みを徹底排除し、ゴミの分別もできています。  
 ・営業所は勤務人数が増えたことで私用のゴミの廃棄が一時期増えたが再教育しました。結果目標を達成することが出来ました。

## ■ リサイクル率

【R5年度目標】（本社）34%（南陽）47%（全社）40.5%  
 【中期目標（R3~R7）】（本社）36%（南陽）45%

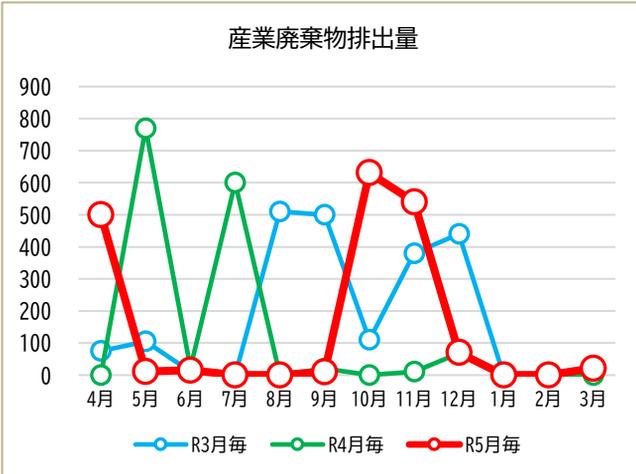


【取組結果】（取組期間：R5.4~R6.3）  
 ■取組期間目標：40.5%  
 ■取組期間実績：36.5%

【取組評価】  
 ・プラと不燃の区別がついていない人がいたため、分別が間違っていることがありました。  
 ・紙などは全てリサイクルで処分することにより、リサイクル率は改善されているが、目標達成出来ませんでした。

## 産業廃棄物排出量

【R5年度目標】（本社）H27年度比40%削減（南陽）本社で一括管理のためなし  
 【中期目標（R3~R7）】（本社）H27年度比40%削減維持

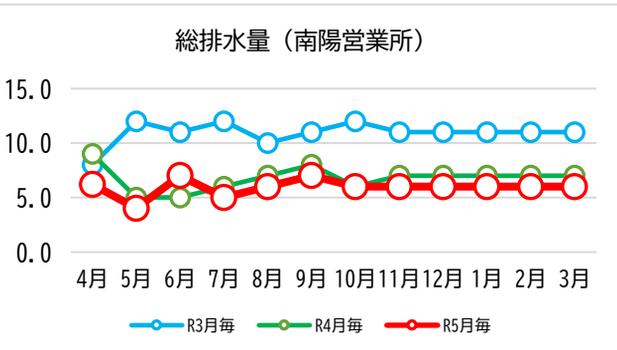
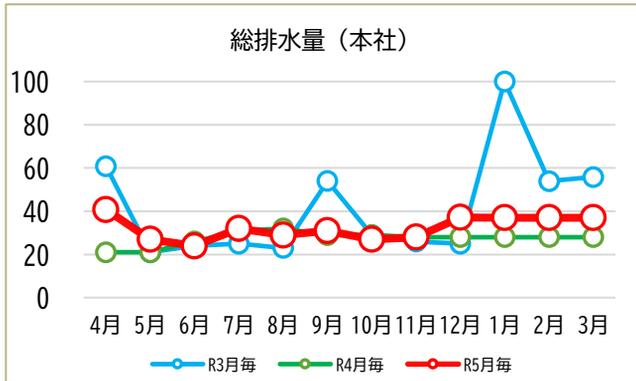


【取組結果】（取組期間：R5.4~R6.3）  
 ■基準年度実績：3,102kg ■取組期間目標：1,862kg  
 ■取組期間実績：1,798kg  
 ■増減量：-1,305kg ■増減率：-42%

【取組評価】  
 ・ワックス剥離作業が集中したが、作業方法を見直したことで、剥離汚泥の量が減少している。  
 ・10月には旧市立、旧三友堂病院の清掃用具を処分した。  
 ・結果、目標を達成することが出来ました。

## 総排水量

【R5年度目標】（本社）R2年度比10%削減（南陽）R2年度比10%削減  
 【中期目標（R3~R7）】（本社）R2年度比10%削減維持（南陽）R2年度比10%削減維持



【取組結果】（取組期間：R5.4~R6.3）  
 ■基準年度実績：714m³ ■取組期間目標：64m³  
 ■取組期間実績：458m³  
 ■増減量：-256m³ ■増減率：-35%

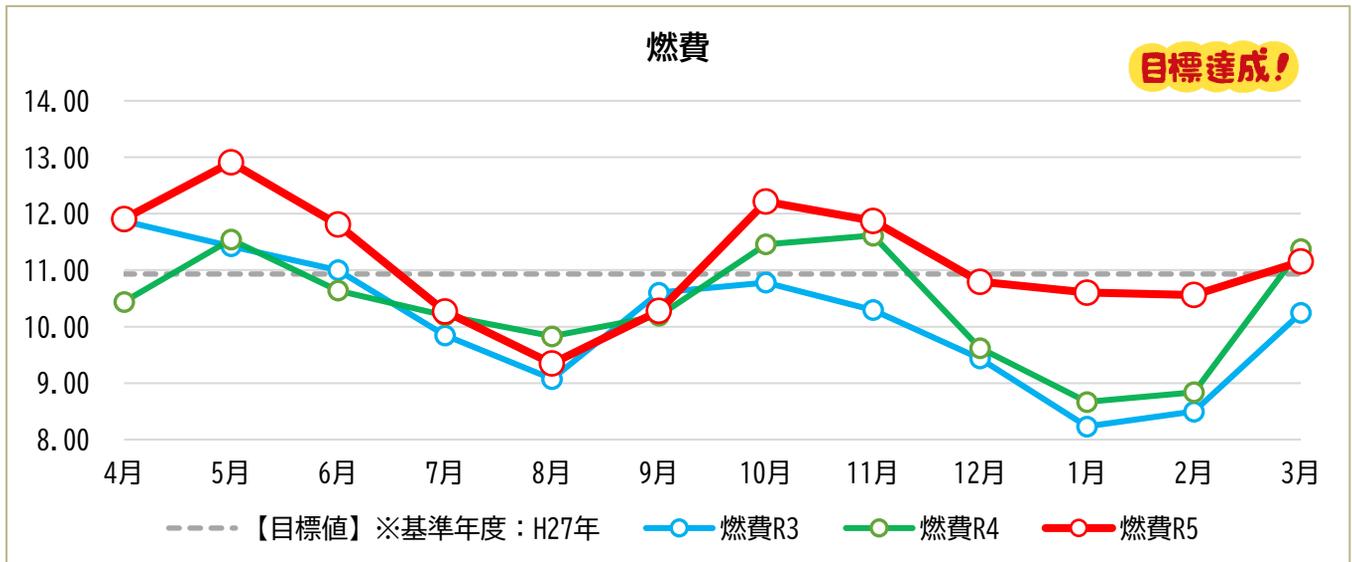
【取組評価】  
 ・洗濯物の量が少ない時は浸け置きにして、あとでまとめて洗濯をするようにした。洗車をしている機会が増えているようでしたが、節水意識が高まったこともあり、使用量を抑えることが出来ています。結果、目標を達成することが出来ました。

## 化学物質使用量（PRTR対象物質）

【取組評価】  
 ・清掃業務で使用している洗剤、ワックス、剥離剤は化学物質を一切含まない製品に切り替えを進め、令和2年度に全て化学物質を含まない製品への切替を完了しています。新しく導入する製品は必ずSDSを取り寄せ、化学物質を含まないことを確認するように留意します。

## ■ 車両燃費

【R5年度目標】（全社）基準年度H27年度より30%燃費向上  
 【中期目標（R3~R7）】（全社）基準年度H27年度より30%燃費向上維持



【取組結果】（取組期間：R5.4~R6.3）  
 ■ 基準年度実績：8.41km/ℓ  
 ■ 取組期間目標：10.93km/ℓ  
 ■ 取組期間実績：11.15km/ℓ  
 ■ 増減量：2.74km/ℓ向上

【取組評価】  
 ・ 燃費の良い車両への入れ替えを行ったこと、エコドライブの意識が浸透したことにより、燃費は向上しました。  
 ・ 夏は蒸し暑い日が多く、燃費が下がったものの、暖冬だったこともあり、冬場に良い燃費を維持することができています。  
 ・ 暖冬だったこともあり、暖機運転の機会が減り、燃費が向上しました。よって、目標を達成することが出来ました。

## ■ 製品・サービスの環境負荷削減に係る環境目標

### 1) 社員のスキルアップ・・・スキルアップ研修会の実施

私達は、専門的な知識と技術を活用し、不便を便利に、不安を安心に、不潔を清潔に、「不」を取ることが使命であり、そのためには技術・知識の向上は絶対条件になります。  
 当社でサービスの質を向上させるために徹底しているのは社員教育です。当社には充実した社員研修や社内資格制度があり、未経験者でもプロの技術を身に付けることが出来ます。  
 例えば、清掃の研修では受講生7名に対して講師はマンツーマンに近い形で対応し、実践的な教育を行っております。指導するのは資格を持ち、各協会で指導員を務めるような先輩社員です。一つ一つ具体的なポイントを押さえて指導しているのでサービスの品質が高まっています。  
 社内資格制度では、国家資格である「ビルクリーニング技能士」の取得を目指して段階的に技術を身に付けることが出来るようになっています。  
 また、業務に必要な資格取得のサポートをするために、資格を持っていなくても資格手当を支給する資格取得補助制度もあります。  
 私達の目的はお客様感動の先にある、「この仕事はエービーエムにしか頼めないね」と言われるカスタマーロイヤリティです。その実現のための人材育成に注力しています。

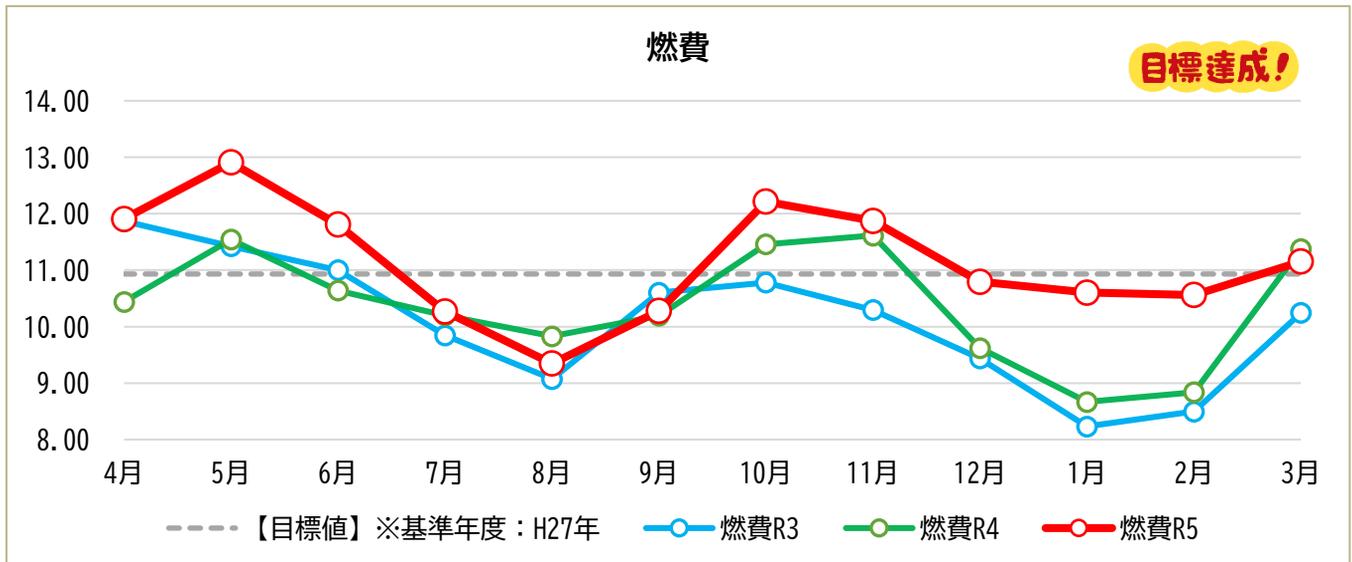
R5年度 主な研修
清掃従事者研修（年1回）
警備員現任者教育（年1回）
技術講習会（年1回）
新人研修（年2回）
KYT（危険予知トレーニング）（毎月1回）
エコドライブ研修（年1回）
社内資格制度（年1回）希望者
健康セミナー（年1回）WEBで実施

## 人財育成



## ■ 車両燃費

【R5年度目標】（全社）基準年度H27年度より30%燃費向上  
 【中期目標（R3~R7）】（全社）基準年度H27年度より30%燃費向上維持



【取組結果】（取組期間：R5.4~R6.3）

- 基準年度実績：8.41km/ℓ
- 取組期間目標：10.93km/ℓ
- 取組期間実績：11.15km/ℓ
- 増減量：2.74km/ℓ向上

【取組評価】

- ・ 燃費の良い車両への入れ替えを行ったこと、エコドライブの意識が浸透したことにより、燃費は向上しました。
- ・ 夏は蒸し暑い日が多く、燃費が下がったものの、暖冬だったこともあり、冬場に良い燃費を維持することができています。
- ・ 暖冬だったこともあり、暖機運転の機会が減り、燃費が向上しました。よって、目標を達成することが出来ました。

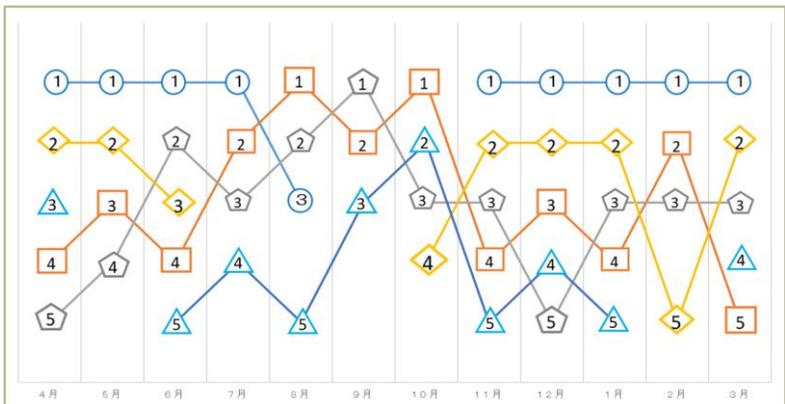
## E-1GP

2023-2024



社有車E-1GPとは エコドライブを全従業員に周知するため、広報誌面において、社有車の燃費を毎月集計し、その月の燃費の良かった順位ベスト5を発表しています。毎年その順位にポイント（例4月1位5点）を付けて集計し、年間の高燃費車両を勝手に表彰するものです。

順位	種別	所属	登録年月	獲得ポイント
1位	日産デイズ	清掃業務部&南陽営業所	平成27年2月	48pt
2位	日産Nクリッパー	設備管理部	平成30年8月	37pt
3位	日産NTクリッパー	設備管理部	令和2年8月	35pt
4位	日産Nクリッパー	南陽営業所	令和1年8月	30pt
5位	日産Nクリッパー	清掃業務部	平成30年8月	20pt



令和5年度エコドライブオブザイヤーに輝いたのは清掃業務部&南陽営業所の日産デイズでした。3年ぶりの優勝でした。獲得したポイントもダントツの48Pt。他の車両と比較しても登録からだいぶ経っており、また途中所属が変わりましたが、燃費は変わることなくトップをキープしていました。続く2位、3位は設備管理部のクリッパーが続きました。2位と3位は僅差でした。4位には、R3, R4総合優勝の南陽営業所3号車が入り、5位は清掃業務部のクリッパーが入りました。全体の燃費に関しては、目標値の10.93km/Lを超える11.15km/Lでした。皆さんのエコドライブのおかげです。引き続き、安全にエコドライブをお願いいたします。

- 日産デイズ
- 日産Nクリッパー（設3）
- 日産NTクリッパー（設4）
- ◇ 日産Nクリッパー（南3）
- △ 日産Nクリッパー（清5）

## ■ 製品・サービスの環境負荷削減に係る環境目標

### 1) 社員のスキルアップ・・・スキルアップ研修会の実施

私達は、専門的な知識と技術を活用し、不便を便利に、不安を安心に、不潔を清潔に、「不」を取ることが使命であり、そのためには技術・知識の向上は絶対条件になります。

当社でサービスの質を向上させるために徹底しているのは社員教育です。当社には充実した社員研修や社内資格制度があり、未経験者でもプロの技術を身に付けることが出来ます。

例えば、清掃の研修では受講生7名に対して講師はマンツーマンに近い形で対応し、実践的な教育を行っております。指導するのは資格を持ち、各協会で指導員を務めるような先輩社員です。一つ一つ具体的なポイントを押さえて指導しているのでサービスの品質が高まっています。

社内資格制度では、国家資格である「ビルクリーニング技能士」の取得を目指して段階的に技術を身に付けることが出来るようになっていきます。

また、業務で必要な資格取得のサポートをするために、資格を持っていなくても資格手当を支給する資格取得補助制度もあります。

私達の目的はお客様感動の先にある、「この仕事はエービーエムにしか頼めないね」と言われるカスタマーロイヤリティです。その実現のための人材育成に注力しています。



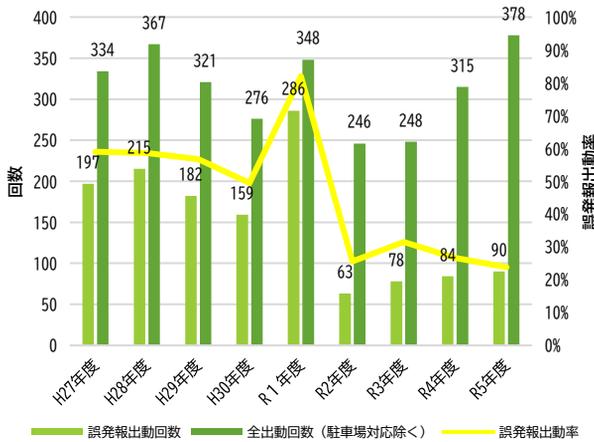
R5年度 主な研修
清掃従事者研修 (年1回)
警備員現任者教育 (年1回)
技術講習会 (年1回)
新人研修 (年2回)
KYT (危険予知トレーニング) (毎月1回)
エコドライブ研修 (年1回)
社内資格制度 (年1回) 希望者
健康セミナー (年1回) WEBで実施

## 人財育成

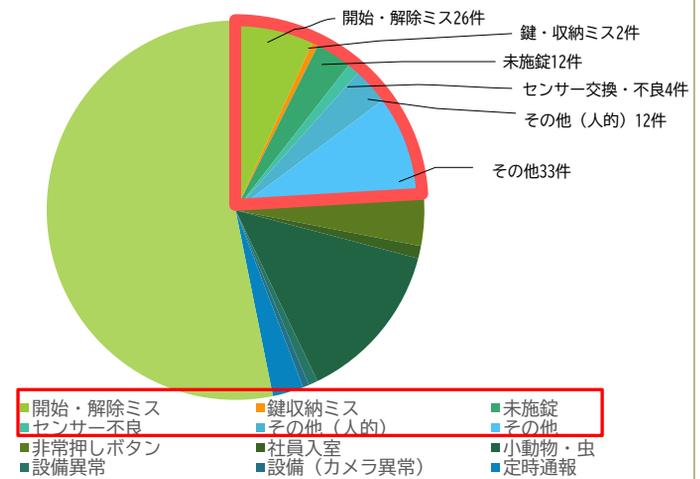


### 2) 人的ミス、機器不良による緊急出動回数を減らす (発生件数の把握及び原因分析)

誤発報出動率



令和5年度発報出動の内訳 (駐車場は除く)



#### 【取組結果】 (取組期間：R5.4~R6.3)

- 取組期間目標：23%
- 取組期間実績：23.8%
- 増減量：+0.8%

#### 【取組評価】

- ・ 出動件数は、昨年度比+63件、誤発報件数は+90件といずれも増加しております。
- ・ 開始・解除ミスによる発報は前年度比+3件増加しています。
- ・ キーボックスにマスターキー等をしまう際に失敗してしまう鍵収納ミスによる発報が昨年度より-4件で改善しています。
- ・ センサー交換・不良も昨年度比-5件です。
- ・ センサーの定期的な点検や、お客様には操作方法の説明を丁寧に行うことで、誤発報を減らしてまいります。

# ■ 地域貢献・環境美化・5S活動

## 1) 会社周辺の清掃活動など

- ・株式会社イービーエムでは、冬期間を除く、毎月第一金曜日の早朝に社屋周辺清掃をおこなっております。
- ・令和5年度も4月から11月まで実施いたしました。
- ・令和5年4月26日に行われた米沢商工会議所主催の社会貢献清掃事業に参加いたしました。
- ・スポーツチャレンジデーでは、会社独自の取り組みとして、スポーツ形式のゴミ拾い大会を新しくなった米沢市役所周辺で実施いたしました。



## 2) 地域貢献活動

- ・株式会社イービーエムでは、地域貢献事業として、置賜の学校で開催される「WAKUWAKUWORK」に参加しています。
- ・令和5年度は、9月27日（水）に県立南陽高校、10月5日（木）に米沢工業高校に行っておりました。
- ・このWAKUWAKUWORKは、企業が学校へ出向くことで地域の仕事や働くことの魅力を高校生に体験を通して知ってもらう取組で米沢商工会議所が主催して毎年行われています。
- ・令和5年度から、範囲が広がり、中学校でも行われるようになり、10月24日（火）には高畠中学校でも行われることになり、当社も参加させていただきました。



## 3) 5S活動

- ・株式会社イービーエムエコアクション推進委員会のメンバーは、現在のエコアクション21審査員である福島先生による5S研修を受け、積極的に会社の5S活動を進めております。
- ・特に5Sの基本である、「整理」「整頓」を行い、作業効率の改善、管理対象備品の削減を進めています。



## 4) エービーエムエコアクション大賞

- ・株式会社イービーエムでは、エコ活動の裾野を広げる活動として、P8の山形県地球温暖化防止活動推進センター主催の『家庭のアクション』への参加、そして、社員から家庭で出来るエコアイデアを募集し、表彰する「イービーエムエコアクション大賞」を行っております。令和5年度は、24件のアイデアが寄せられました。厳正な審査の結果、大賞は以下のアイデアが受賞いたしました。



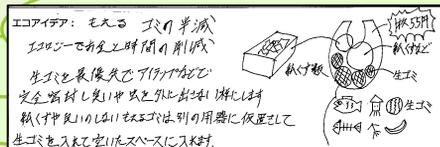
南陽営業所勤務  
嶋津優美さん

我が家では昔から魚焼きグリルを使用する時に、水で片栗粉を溶いたものを、受け皿に流しこんでから使用します。グリルを使用したあとに30~40分放置すれば、ゼラチンのように固まり、プルンとめくってはがせるので、洗いの際、洗剤を使用する量が劇的に減ります！  
(※水300ml、片栗粉だいたい大さじ4杯)

週に1度は冷蔵庫の整理整頓を行っています。賞味期限を確認して日付のせまっている食材からメニューを考えたり、野菜も鮮度を見ながら使う順番を決めることで、食材をわるくすることなく使い切れるのでフードロスにつながります。

南陽営業所勤務  
佐藤真実さん

本社清掃業務課勤務  
蓮沼 誠さん



## 4. 環境経営計画と取組結果

### 二酸化炭素排出量の削減

【評価判定の目安】

- ・・・実施済。80%以上の社員が取り組んでいる。80点以上の満足度である
- △・・・一部未実施。50～80%の社員が取り組んでいる。50～80点ぐらいの満足度である。
- ×・・・未実施。50%未満の社員しか取り組んでいない。50点未満の満足度である

消費電力の削減	取組状況	備考
室温は暖房期20℃、冷房期28℃で管理	△	
サーキュレーターを稼働させ、室内温度差をなくす	○	
使用していない部屋のエアコンはOFF	○	
定期的にエアコンのフィルターを清掃	○	
不要な照明は消灯	○	

ガソリンの使用量の削減	取組状況	備考
エコドライブの教育研修	○	
燃費・走行距離の把握	○	
5000 km（6ヶ月）ごとにオイル交換	○	定期点検実施
10000 km（1年）ごとにエレメント交換	○	定期点検実施
業務の効率化（運行ルートの管理）	○	

灯油・LPGの削減	取組状況	備考
暖房温度は決められた温度以下で管理する	△	断熱性能が低い
窓の内側に緩衝材を貼り付ける	○	

### 廃棄物排出量の削減と適正管理

一般廃棄物の削減（リサイクルの推進）	取組状況	備考
廃棄物置場の整理整頓	○	
不要な資料・カタログ等の辞退・返却	○	
コピー用紙削減（両面コピー、裏紙利用の徹底）	○	

産業廃棄物の削減と適正管理	取組状況	備考
保管場所の管理（安全衛生状態も含む）	○	
マニフェスト・契約書類の管理	○	

### 化学物質管理

対象化学物資の管理	取組状況	備考
SDSの収集整理・対象製品・使用量の把握	-	R2全ての商品を切替
清掃方法の改善	取組状況	備考
化学物質を使用しない清掃手法の検討・情報収集	-	

### 総排水量の削減

水道使用量の削減	取組状況	備考
「節水」の掲示	○	
蛇口元栓の調整（必要最小限の流量量）	○	

### その他

社員のスキルアップ	取組状況	備考
資格取得者の増加	○	
社内研修会の開催	○	
テキスト参考書購入補助	○	

消費電力の削減	取組状況	備考
クールビズ、ウォームビズの推進	○	
窓にすだれを垂らし、直射日光を防ぐ	○	
窓に緩衝材を貼り付け	○	
電力使用量の見える化（環境負荷データの揭示）	○	

ガソリンの使用量の削減	取組状況	備考
適切な時期でのタイヤ交換	○	4月、11月実施
適切な空気圧の維持	○	
エコタイヤの導入	○	
不要な荷物を載せたままにしない	○	
計画的な低燃費車両への入れ替え	○	

灯油・LPGの削減	取組状況	備考
ウォームビズの徹底	○	
必要最低限の温度で給湯（夏季は使用しない）	○	

一般廃棄物の削減（リサイクルの推進）	取組状況	備考
一般廃棄物の排出量記録	○	
社内の整理整頓	○	

一般廃棄物の削減（リサイクルの推進）	取組状況	備考
委託先の状況確認	×	感染防止のため

対象化学物資の削減	取組状況	備考
対象化学物質含有量の少ない製品の選定	-	

水道使用量の削減	取組状況	備考
地下水の適正利用基準の策定と遵守	○	積雪センサー
その他節水対策機器に関する情報収集	○	

誤発報による緊急出動回数を減らす	取組状況	備考
機器点検の実施	○	
異常発報件数の把握	○	
対策の検討	○	

## 5. 指定管理施設の環境負荷について

### 5-1. 環境負荷の現状（令和5年度環境負荷自己チェック結果（指定管理）より）

#### ■ 二酸化炭素排出量

※電力使用に係る二酸化炭素排出係数について、置賜総合文化センターのみR4年度東北電力（調整後：0.477）を用いています。その他の施設の電力は実質CO<sub>2</sub>排出ゼロジオエネ電気レギュラー（サミットエナジー）より供給されており、CO<sub>2</sub>排出ゼロとなっております。令和6年2月から当社の関連企業であるエービーエム・エナジー太陽光発電基地で発電した電力を供給しています。下記参照

1) 指定管理施設における令和5年度のCO<sub>2</sub>排出量は合計372,116kg-CO<sub>2</sub>となっており、前年度比6.6%増加しました。これは平均的な一般家庭143軒分の排出量に相当します。

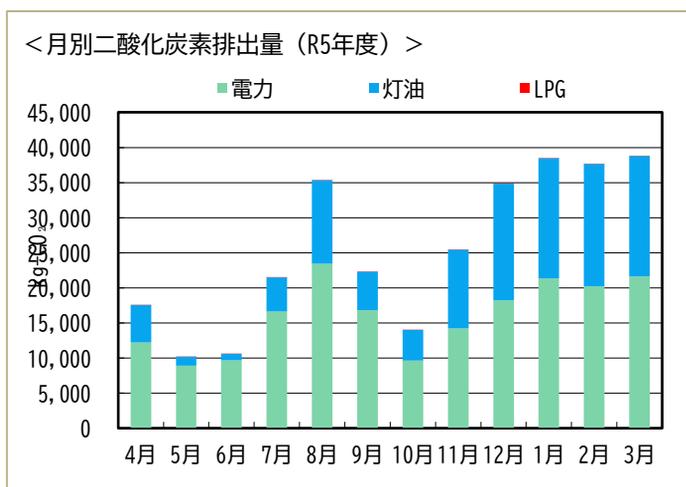
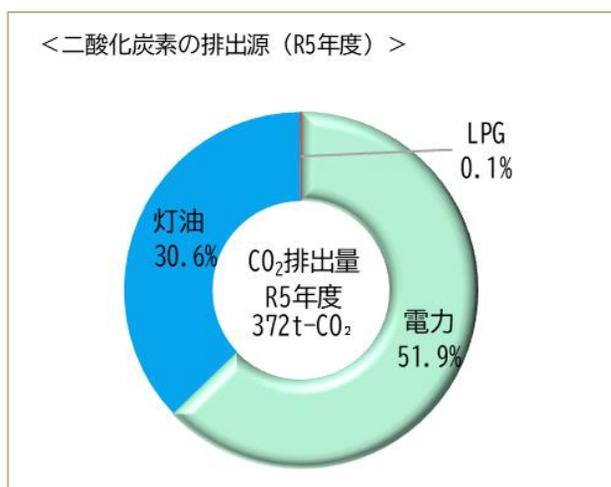
（令和4年度世帯平均年間排出量2.59t-CO<sub>2</sub> 出典：家庭部門のCO<sub>2</sub>排出実態統計調査（環境省HP））

2) 指定管理施設から排出されるCO<sub>2</sub>の51.8%は電力の使用に伴うもので192,971kg-CO<sub>2</sub>（前年比4.4%減）、次いで灯油の消費に伴うものが30.5%、113,750kg-CO<sub>2</sub>（前年比1.3%増）などとなっております。

3) 電力は事務所の照明、冷暖房の稼働で使用しています。また、灯油は空調機ボイラー運転、事務所の暖房用、LPGは事務所給湯用となっております。令和4年2月より、実質CO<sub>2</sub>排出ゼロのジオエネ電気レギュラーに切り替えたため、電力によるCO<sub>2</sub>排出している施設は置賜総合文化センターのみとなります。

4) 月別のCO<sub>2</sub>発生量は7月、8月の夏期間と11月～3月の冬期間（降雪期）に多くなっています。これは、冷暖房用の空調機を使用する機会が増えること、融雪用の地下水の引き上げポンプ（市営体育館）などそして、主に暖房として灯油などの消費量が増加するためです。

5) 以上のことから、特に電力使用量の削減が重点課題となります。施設の照明のLED化を引き続き進めてまいります。置賜総合文化センター以外の施設は、実質CO<sub>2</sub>排出ゼロの電力に切り替えましたが、置賜総合文化センターは指定管理者であるものの、米沢市教育委員会を始め、外郭団体が入居しており、電気の契約も米沢市です。指定管理者だけの努力では使用量を削減することが出来ないため、入居者や利用者の理解と協力が必須となります。



### 7 エネルギーの地産地消へ新たな取り組み



2024年2月1日

エービーエムエナジー合同会社様と提携いたしました

エービーエムエナジー合同会社様と提携いたしました

米沢市市民文化会館、米沢児童会館、米沢市営体育館で地産地消電力が実現しました

エービーエムエナジー合同会社様とおきたま新電力は2024年1月18日に特定電力供給契約を締結いたしました。

本年2月1日から、株式会社エービーエムエナジー様の指定管理施設である米沢市市民文化会館、米沢市児童会館、そして米沢市営体育館は「エービーエムエナジー」で発電された電力が供給されています。

おきたま新電力はエービーエムエナジー様と電力の地産地消の実現に専念し、さらに再生可能エネルギーの推進をしております。

2024年2月1日記

2024年2月8日 / 最終更新日時：2024年2月8日

エネルギーの地産地消のスタートです

当社の関連会社であるエービーエムエナジー合同会社とおきたま新電力は、2024年1月18日に特定電力供給契約を締結いたしました。

これにより、2024年2月1日から、当社の指定管理施設である米沢市市民文化会館、米沢市児童会館、そして米沢市営体育館はエービーエムエナジーで発電された電力が供給されています。

エービーエムエナジーは、エービーエムエナジーはおきたま新電力様と一緒に、電力の地産地消の実現に専念してまいります。

当社HPより抜粋



おきたま新電力様HPより抜粋

太陽光による発電なので、CO<sub>2</sub>排出はゼロ

## ■ 廃棄物排出量

■一般廃棄物：可燃ごみ、紙類（資源回収対象）などは、行政の分別ルールに従い、それぞれ、量を把握した上で排出しています。可燃ごみが最も多く、3,137kg、次いで紙類（再生資源）が2,242kgとなっていました。特に米沢市の職員が入っている置賜総合文化センターは可燃ごみ、紙類の排出がそれぞれ2,592kg、1,779kgと総排出量の8割を占めています。全体でのリサイクル率は43.1%でした。

■産業廃棄物：最も多かったのは廃蛍光灯で47.4kgでした。児童会館や文化会館はLED化が進行中なので排出量は少ないのですが、文化会館では催事で使用する電球の消費が多いことや、市営体育館も一部LED化を進めていますが、アリーナ照明などは未だに蛍光灯を使用しております。文化センターでは米沢市のゴミのルールに従い、蛍光灯は産業廃棄物でなく、不燃ごみとして処分しています。

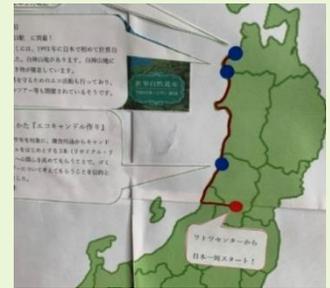
## 社会貢献活動

### エコキャップ推進運動について



米沢市児童会館では、平成25年に開館30周年を記念してペットボトルのキャップを使ったキャップアートを作成したことをきっかけに、毎年、ペットボトルキャップを集めてNPO法人エコキャップ推進協会に提供しております。

エコキャップ運動は、リサイクルの促進、CO<sub>2</sub>の削減、売却益で発展途上国の医療支援の発足時は3つの目的でしたが、リサイクルの過程で雇用創出ができることがわかり、現在はこの3つの目的に加えて、障がい者・高齢者雇用促進などの4つの目的となっています。<https://ecocap.or.jp/katudo/><https://ecocap.or.jp/katudo/>引用



南陽市勤労者総合福祉センターでは、キャップ430個を燃やすと3150gのCO<sub>2</sub>が発生するところに目を付けて、この時に排出される二酸化炭素を、燃費8.33km/Lの車（日本保有車両の平均燃費）で同じ量の二酸化炭素を排出して走行したと仮定し、走行距離を計算します。日本地図上に走行距離を記録していきます。スタートはワトワセンターが位置する山形県南陽市、そこから海沿いを走行していきます。現在の到達地点で行われている地域の環境に関するエコ活動情報を調べ、地図上に記載することで、ご利用者様に環境情報も発信しています。

集めたペットボトルキャップは、南陽市内の学校の収集に協力するため、提供しています。

## ■ 総排水量（水使用量）

市営体育館、文化センターで融雪のため地下水を利用していますが、量は把握できません。水道は、全て生活用水となります。総合計5,188㎡使用し、昨年度比約15.8%増でした。なお、放流先は全て下水となります。

## ■ 化学物質使用量（購入量）

清掃業務に使用する洗剤、剥離剤等にPRTR成分を含有しているものを使用していましたが、令和3年度に引き続き、令和5年度もPRTR成分を含有している洗剤、及び剥離剤は使用していません。

## 緊急事態対応訓練

各指定管理施設で油流出を想定した訓練を実施いたしました。これまで共通のマニュアルでしたが、施設の特徴に合わせたマニュアルを新規作成しました。マニュアルの実効性について確認することが出来ました。



## 6. 環境関連法規等の遵守状況、訴訟等の有無

環境関連法規遵守については、当社および指定管理施設に適用される環境関連法規及び条例の一覧を作成し、年1回遵守状況を確認し、必要に応じて変更・追加・改善しております。本年度、自社で確認した結果、違反・訴訟はありませんでした。また、関係当局よりの違反などの指摘はこれまでありません。

法規制	遵守状況
環境基本法等	○
フロン排出抑制法	○
水質汚濁防止法	○
浄化槽法	○
廃棄物処理法	○
消防法	○
置賜広域行政事務組合火災予防条例	○
下水道法	○
自動車リサイクル法	○
家電リサイクル法	○
大気汚染防止法	○
ボイラー及び圧力容器安全規則	○



令和5年度中間審査の様子

## 7. 代表者による全体評価と見直し

エコアクション21の認証登録を受けて、8年が経過し、エコアクション21推進委員会を中心に当社の環境経営活動が進められています。令和5年度は中間審査の年でしたが、大きな指摘事項もなく、この取組が全組織に拡大しても環境経営システムは有効に機能していることが確認出来ました。5S活動の取組について、今審査では、南陽営業所だけでなく、本社や他施設でも5Sの意識が広がっていることを評価いただき大変嬉しく思っています。

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行されましたが、医療従事者に近い立場であるため、感染症対策は万全と行ってまいりました。社員の皆様の取り組みのおかげで、当社由来の集団感染事例もありません。

令和5年度の取組結果としては、ほとんどの項目で目標を達成することが出来ました。特に電気使用量やガソリンは、暖冬だったこともあり、昨年度より大きく改善が見られました。アフターコロナで研修や来客対応で研修室を使用する機会が増加しましたが、令和3年度に暖房設備を石油ヒーターからエアコンに揃え、また駐車場内の研修室にも高性能のエアコンを整備したこと、コロナ禍において取り組んだことが大きく実を結んだものと思います。

また当社のCO<sub>2</sub>排出の多くを占めるガソリンの使用量についても、エコカーへの計画的な切り替え、従業員のエコドライブの意識の高まりもあり、使用量も抑えることが出来、さらに燃費も昨年に続き改善することが出来ました。

一方で灯油に関しては、南陽営業所で洗濯物を乾燥させるのに石油ストーブを使用していたことと、本社では、暖冬だったため、購入時期が1か月ずれ込んだことで、例年よりも増えているような状況になってしまいました。使用量ではなく、購入した量であるため、実際には多くの残量があるようなので、令和6年度は改善すると思われれます。

本年度も米沢市のチャレンジデーに参加し、地域貢献活動と健康経営を一緒に行う独自の「スポーツ形式のゴミ拾い大会」を実施し、多くの社員が積極的に参加いただくことが出来ました。本取り組みは今年で最後ということは残念ですが、来年度以降も独自で取り組みたいと考えております。

指定管理施設について、アフターコロナで利用が戻ってきていますが、類似施設が新設されたり、リニューアルされたりしたことの影響で稼働率が低下し、利用料金収入は残念ながら減少しています。

世界的な物価高騰、円安の影響を受け、経営環境は大変厳しいものとなっております。一方で明るい話題としては、令和6年2月より、おきたま新電力と提携し、当社の関連企業であるエービーエムエナジー合同会社の持つ太陽光発電基地で発電された電力を供給することが実現しました。エネルギーの地産地消によって、大きなアピールをすることが出来るようになりました。

当社は「地域一番のサービスでお客様感動」という価値観を社員全員で共有していますが、環境面においても「地域一番」を目指して、引き続きエコアクション21推進委員会を中心に進めて参ります。

2024年7月1日

株式会社エービーエム

代表取締役社長 赤間 俊明



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

2030年に向けて  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です

株式会社エービーエムは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

この環境経営レポートは、ご希望の方に差し上げています。  
ご希望の方は、本社窓口でお申し出いただくか、下記にご連絡  
下さい。

弊社ホームページ（<https://www.y-abm.co.jp/>）又は  
エコアクション21中央事務局のHP（<http://www.ea21.jp/>）で  
ご覧いただけます。

〒992-0003 山形県米沢市窪田町窪田584-2

TEL0238-37-5733 FAX0238-37-2822